

# 一茶ゆかりの里通信

No. 37



平成27年12月15日発行  
長野県上高井郡高山村大字高井5161-1  
歴史公園信州高山 一茶ゆかりの里 一茶館  
TEL(026)248-1389 FAX(026)248-8913  
いっさはいく はいくいっさ  
<http://kobayashi-issa.jp>  
印刷所 (株)オフセット 長野県須坂市墨坂南1-17-3  
(026) 245-6338



## 一茶秋麗茶会

11月1日に一茶館を会場に一茶秋麗茶会を開催しました。約100人の方に、薄茶席と点心席を楽しんでいただきました。一茶逗留の離れ家では表千家の宮前社中、句碑広場では石州流の朝比奈社中が野点でお客様をもてなしました。秋麗茶会という名に相応しい麗らかな日の中、紅葉に囲まれてのお茶会となりました。

点心席では松茸御飯やシャインマスカット等、秋ならではの味覚を詰めた特製懐石弁当を召し上がっていただきました。また、お茶席のお菓子は、高山村産の栗の渋皮煮と上新粉と山芋で皮をつくり地場産小豆を使った一茶まんじゅうをご用意いたしました。

来年も春と秋にお茶会を開催する予定です。



### 企画展

## 一茶と高山村の門人たち

小林一茶と高山村の門人たちの親交の深さを知ることのできる歌仙や手紙を貼った貼りまぜ額や門人たちの俳句を中心に、今年の九月に発見された高杜神社（高山村久保地区）の俳額など、高山村の門人たちの一茶との交流や高山村の門人たちの俳諧について知ることのできる展示です。



## 一茶館で募集しています

### 高山村のお宝展 展示品

開催は2016年1月5日(火)～1月31日(日)

### 一茶の句俳画コンクール作品

募集締め切りは2016年1月13日(水)

### 第10回 一茶ゆかりの里フェスタ出演者

期日2月6日(土)・7日(日)

# 第十九回 一茶ゆかりの里俳句大会

主催 高山村・高山村教育委員会・高山俳壇  
 期日 平成27年10月18日(日)  
 選者 長野県俳人協会 会長 東福寺碧水  
 副会長 近藤柊雨・倉科繁登・海野良三・山口斗人(敬称略)  
 応募人数 123名  
 応募句数 472句

一茶ゆかりの里大賞	名人に松茸山が寄って来る	長野市	塩澤 涼々
長野県教育委員会賞	何もせぬこの一日は一茶の忌	小布施町	渡辺 澄子
高山村教育委員会賞	会話なきひと日もありぬ心太	高山村	勝山 栄泉
長野県俳人協会賞	青春は泉の底に沈んでる	埼玉県	早乙女文子
信濃毎日新聞社賞	螢狩遠き日の闇呼びにけり	高山村	高野 悠子
須坂新聞社賞	実直を貫き案山子倒れけり	新潟県	織田亮太郎
高山村文化協会賞	歪みたる佐渡の鳥影薄暑かな	須坂市	清水 章
信州高山温泉郷観光協会賞	草笛の鋭く鳴りぬ河原かな	中野市	吉原 路子
高山村公民館賞	水切りの石の行方や河鹿鳴く	東京都	権守いくを
高山俳壇賞	破れ蓮や鯉の呑み込む陽のかけら	千葉県	若林 佐嗣
高山俳壇賞	稲束を空へ一振り稲架掛ける	愛知県	加藤 久子
高山俳壇賞	月の能終の一鼓を打つ虚空	三重県	増田 笑子
高山俳壇賞	母の手を切りたがる児の天花野	愛知県	平野 辰美
高山俳壇賞	目を合はすことなき夫婦菊人形	三重県	川崎 和子
高山俳壇賞	人の世も不揃ひありぬ葱坊主	埼玉県	埼玉 久保以久
高山俳壇賞	かまくらを庭に残して子ら帰る	高山村	古谷 公子
高山俳壇賞	手がとどく近さに山の滴れる	長野市	中村 弘

## 俳句大会講演会

### 「一茶俳句に見る

### 子どもの暮らし」

講師 俳人 土肥あき子 先生

19回目となる今年も、信濃毎日新聞「けさの一句」の筆者でもある土肥あき子先生をお招きし、ご講演いただきました。小林一茶の俳句に詠まれている子供の遊びや生活について当時の浮世絵などを用いて解説してくださいました。



## 第十九回 一茶ゆかりの里俳句大会

### 席題 特選句

#### 秋麗 特選

小林 まこと 先生選

離れ屋の坊主疊や秋麗  
 秋うらら水音にある白さかな  
 秋うららアダムとイブのさ迷へる

長野市 竹村 忠士  
 長野市 川崎 繁子  
 木島平村 小林 恵子

福田 喜美子 先生選

人の世に何も残さず秋うらら  
 艶やかな農夫の顔や秋うらら  
 秋麗や人語鳥語の一茶館

木島平村 片桐 嶂泉  
 高山村 高橋 良道  
 長野市 塩澤 涼々

#### 囁目 特選

片桐 嶂泉 先生選

庭石のひとつひとつに秋日照る  
 墓石を巡りてをりぬ秋の蜂  
 一族の待ちわびおりぬ今年米

長野市 山関きみ江  
 長野市 吉池 野草  
 木島平村 滝沢 桂子

一色 正次 先生選

身にしむや付木に遺る一茶の句  
 蒼天の深きに触れて柘榴の実  
 一族の待ちわびおりぬ今年米

松本市 福田喜美子  
 長野市 玉井 玲子  
 木島平村 滝沢 桂子

# 第18回 一茶ゆかりの里 小中学生俳句大会特選句

応募総数 2091 句  
 小学校 (19 校) 1391 句  
 中学校 ( 8 校) 700 句  
 審査員 上高井教育会俳文学同好会会員  
 高山小・中学校国語科主任 他  
 (敬称略・順不同)

## 小学校一年生

ままといくいっばいとろうかぶとむし

## 小学校二年生

クワガタはじまんのアゴできりたおす  
 なすのみがうしろすがたの女の子

## 小学校三年生

つながつてかいじゅうみたい夏の雲  
 大きいなたいようみたいなひまわりだ  
 かにさされスタンプリーみたいだな  
 三年生ちよつとふあんの大プール  
 夏の朝まだお月さま出ているよ  
 バリカンでうん動会に気合い入れ  
 きまだめし帰ってきたらないていた

## 小学校四年生

ふきのとう天ぷらにして大人味  
 かぶと虫ごつつい角でふつとばす  
 平泳ぎカエル先生スイスイと  
 水でつぼうにじのトンネルくぐり合い  
 せみしぐれ夜空にひびくこもりうた  
 雪がふり町中光に包まれる  
 ホタルがねランプ代わりの夜の道  
 「われちやった！」にせものバットでスイカわり  
 せみたちのスポットライトは木もれ日さ

## 小学校五年生

ふもとより若葉の芽吹き加速中  
 われさきに歌う田の中夏の声  
 ミンミンといつ鳴り止むかセミの声

## 小学校六年生

そよ風でしげる葉桜ゆらゆらり  
 草取りに一つ輝く汗ポタリ  
 空見上げ七夕の日は夢広げ  
 梅雨の時期折りたたみガサかわかない  
 山の背に入道雲のアイスあり

高山小学校

島田 漣

豊洲小学校

野口 翔琉  
 中澤はるな

真島小学校

吉田小学校

真島小学校

豊洲小学校

南部小学校

南条小学校

三水第一小学校

豊洲小学校

松代小学校

篠ノ井西小学校

鬼無里小学校

南条小学校

植生小学校

豊洲小学校

豊洲小学校

森上小学校

高山小学校

鬼無里小学校

南條小学校

豊洲小学校

山王小学校

豊洲小学校

豊洲小学校

高山小学校

高山小学校

高山小学校

高山小学校

## 中学校一年生

## 中学校二年生

七夕に叶わぬ夢を書く自分  
 闇の中火花が照らす友の顔

## 中学校三年生

青蓮院ぬれた若葉の青光る  
 大仏の瞳に写る春の雨  
 京都一しだれ桜のおこしやす  
 春雨に濡れても散らぬ花の意地  
 山笑う千本鳥居の朱色かな  
 京の春風雷神暴れけり  
 菜種梅雨霧に隠れる古都の町  
 上ばきを干した空には雲の峰  
 夕焼けに背中押されて急ぐ帰路  
 陽炎や私を夢へとつれてゆけ  
 春雨が奏でる音に葉も踊る

高山中学校

柳澤 颯佑

高山中学校

高山中学校

小林美い菜  
 東方 杏純

常盤中学校

常盤中学校

常盤中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

墨坂中学校

墨坂中学校

墨坂中学校

高山中学校

柳澤 颯佑

小林美い菜

東方 杏純

常盤中学校

常盤中学校

常盤中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

北部中学校

墨坂中学校

墨坂中学校

墨坂中学校

高山中学校

## 夏休み俳句教室

..... 8月7日・8日・9日

### 講師

東福寺碧水 先生  
(7日・9日)

神田北童 先生  
(8日)



### こんな俳句をつくりました！

漬物の四葉きゅうりしわだらけ 北島つぎこ  
 うれしいないっぱいさいたよあさがおが 下崎あやね  
 家帰りかおにあててるうちわ風 高橋真美子

# 一茶ゆかりの里 投句箱 入選句

(一・二・三)

選者 高山俳壇 松本 孝夫 先生

- 特選天 雪深し偲ぶ一茶の裏表 愛知県 都築 英之
- 特選地 初日記まずは一句を記しておく 愛知県 平野 辰美
- 特選人 年重ね香り恋しき露のとう 群馬県 竹淵 洋子
- 入選 長命の系図あやかり神参り 群馬県 土屋はじめ
- 地に光るあれよと見れば草氷柱 群馬県 滝沢 照香
- 郷言葉受話器にはずみあたたかし 群馬県 田村 洋子
- 春炬燵出るに出不れず昼が過ぎ 群馬県 山口 岩美
- スーパより雪の下こそ露のとう 群馬県 岸 保弘

(四・五・六)

選者 志やくなげ俳句会 荒井 智雄 先生

- 特選天 花こぶし甕に溢るる老舗宿 高山村 高野 悠子
- 特選地 髪束ねペダル漕ぐ娘に聖五月 愛知県 平野 辰美
- 特選人 決められず手いっぱいの種袋 群馬県 滝沢 照香
- 入選 路の臺摘む喜びもお裾分け 群馬県 竹淵千恵子
- 立春や朝の掃除機豆を吸ふ 栃木県 五十畑文子
- 葉桜の影の重なる一茶像 栃木県 五十畑文男
- 信濃路や植田に軽き風渡る 神奈川県 田中 京子
- 同級会苦労話も花の庭 群馬県 竹淵てる子
- 濡れ枝に花も滴るハナミズキ 東京都 大久保友花
- 孫と来し一茶会館五月晴れ 長野市 塩入紀栄子

(七・八・九)

選者 高山俳壇 勝山 久峰 先生

- 特選天 寝てる子の笑うえくぼやさくらんぼ 群馬県 竹淵千恵子
- 特選地 亡き父の形見着ている案山子かな 群馬県 滝沢 照香
- 特選人 ひぎの児を笑顔に涼風あやしいる 群馬県 竹淵てる子
- 入選 夏まつり引く孫の手の心地良さ 群馬県 山口 岩美
- 一仕事終えて冷えたか西瓜食ふ 群馬県 岡村妃呂子
- 夕端居にわかに浮かぶ母の貌 群馬県 清水 一静
- ひまわりや青空高く咲きほこり 長野市 永井 茂富
- 濃く淡く一茶の筆や涼新た 長野市 清住 弥生
- 涼新た句帳の和綴締めなおす 愛知県 平野 辰美
- 眺望の山また山や茸狩り 高山村 高野 悠子

## ◆ 吟行句会 5月23日 ◆

マイクロバスで高山村の一茶ゆかりの場所と句碑を巡り互選句会を開催しました。



### 特選句

葉桜の風を纏うて一茶句碑 高野 悠子  
 句友よぶ声を雄滝に捕られけり 栗原ヒサエ

## フォト×俳句講座 6月27日

親子11組が参加し、素敵なフォト俳句作品がたくさんできました。



あじさいや  
 いつ咲くかなと待ちのぞむ  
 加藤愛奈 (小6)



筍や  
 君と青空への背へくらべ  
 中村莉心 (小4) 親子共同作品